

設備の高効率化改修支援モデル事業  
実施計画書

事業名		〇〇町立病院空調設備の高効率化改修支援モデル事業				
代表事業者	団体概要	団体名	△△県〇〇町			
		所在地	〒xxx-yyyy △△県〇〇町丸の内1-			
		主な業務内容	一般病院			
		事業実施責任者・役職	〇川太郎・院長			
	事務連絡先	資本金	-			
		部署	施設課			
		役職	-			
		氏名	□山次郎			
		勤務先住所	〒xxx-yyyy △△県〇〇町丸の内1-			
		電話番号	0xxx-yyy-zzzz			
E-mail	xxx@yyy.co.jp					
共同事業者	団体名	事業実施責任者				
		氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等		〇〇町立病院				
区画住所		△△県〇〇町丸の内1-				
施設概要		〇〇町立病院				
対策名称		空調用ファンへのインバーター制御の追加、XXX-YY-AB1 x1台 (「部品の交換」・『部品の追加』 ※該当しないものを消す)				
対策名称		空調用冷却水ポンプへのインバーター制御の追加、XXX-YY-AB1 x1台 (「部品の交換」・『部品の追加』 ※該当しないものを消す)				
施設概要						
対策名称						
対策名称						
区画住所						
施設概要						
対策名称						
対策名称						
事業の目的		<p>* 本補助金を申し込むに至った経緯(何故設備自体の入れ替えを選択しなかったか等)を記入する。 設備を導入して10年経過し、最新の設備と比較すると性能が30%程度低く経年劣化もあり電力料金の負担が増加している。設備全体の入れ替えも検討したが予算の関係上困難であると判断した。空調用のファン及び冷却水ポンプをインバーター制御することにより、効率的に電力使用量の低減を図りたい。</p>				
事業の性格		<p>【事業のモデル・実証的性格】 * 補助事業のモデル性や実証的性格について具体的に記入する。 本町ではこのような事業を行った経験がないので、省エネルギー実証のモデル事業になる。</p> <p>【補助事業の今後の活用・展開の見通し】 本事業を町立病院で実施し効果が実証されれば、本町の他の施設、町内の民間事業者にも水平展開することにより環境へのCO2の排出の抑制に貢献したい。</p>				
事業の効果		<p>【CO2削減効果】 事業による直接効果・・・CO2トン 136 t-CO2/年</p> <p>【事業の資金回収・利益の見通し】 * 次の3点について記入する。 ①.補助事業のインシャルコストのうち自己負担額 1,984,400円 ②.補助事業による年間の光熱費の減少額(各対策個票の減少額の合計を記入する。) 4,238,100円 ③.①の回収見込み年数(①/②年) 0.5年</p> <p>【費用対効果】 本事業によるCO2削減量 / 総事業費 : 22.2 kg-CO2/1,000円/年 本事業によるCO2削減量 / 補助金額 : 34.3 kg-CO2/1,000円/年 本事業によるCO2削減量 / 設備全体を更新した場合の総額 : 4.5kg-CO2/1,000円/年</p>				
事業の実施体制		<p>【事業の実施体制】 * 補助事業の実施体制について、補助事業者内の施行管理や経理等の体制を含め記入する。 事業の責任者 院長 〇川太郎 事業担当者 施設課長 □山次郎 経理責任者 事務長 △海三郎 経理担当者 経理課長 ×谷四郎</p> <p>【設備の管理体制】 既存設備を〇〇〇保安協会の電気主任技術者に管理を移しているため、本事業が遂行されれば、インバーター設備についても委託予定。設備保守についてはメーカー保守サービスを受ける予定。</p>				
資金計画		<p>本年度予算に計上済である。</p> <p>【補助対象経費の調達先】 * いずれか該当するものを残す ① 補助事業者自身 ② 100%同一の資本に属するグループ企業 ③ 補助事業者の関係会社 ④ ①から③以外</p>				
事業実施スケジュール		<p>* 事業の実施スケジュールを記入する。事業スケジュールは別紙を添付してもよい。 別紙参照</p>				
他の補助金との関係		<p>* 他の国の補助金等への応募状況等を記入する。 なし</p>				

(実施計画書 添付資料)

別添の対策個票に加え、次の3点の資料(複数施設を申請する場合には④(及び⑤))を添付すること。

- ①建物の登記簿謄本(原本)(発行から3ヶ月以内) ②施設の図面及び竣工日が分かる資料
- ③施設の外観全体像及び内部が確認できる写真
- ④1区画内において、各施設の位置関係が分かる地図等
- ⑤(複数区画にまたがる場合)各区画の位置関係が把握できる地図等

対策個票 1

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号	1		
対策の名称	空調用ファンへのインバーター制御の追加		
対象設備の概要	【基本情報】 用途： 町営病院の冷暖房 エネルギー種別： 電力 定格出力： 20 kW 導入時期： 平成17年 法定耐用年数(残余法定耐用年数)： 15年 (5年) 1日及び1年の稼働時間： 1日 24時間、年間 4,500時間		
	【メンテナンス実施体制・実施状況】 年2回サービス会社による定期メンテナンスを実施している。		
対策内容	【部品の交換】		
	①交換する部品名 ②導入する部品名・製造メーカー ③②の法定耐用年数(無い場合は-)を記入する。		
	①	②	③
	【部品の追加】		
	既設の電気モーター駆動のファンはダンパーにより風量の制御を行っている。運転パターンを流量85%を2,250時間/年、流量60%を2,250時間/年とすると所要動力はそれぞれのパターンでダンパーの場合は91%、76%、インバーター制御の場合は66%、25%と大幅に改善する。		
	①追加で導入する部品名・製造メーカー ②①の法定耐用年数(無い場合は-)を記入する。		
	①	②	
	高性能・大容量インバータ・〇〇電気製		15

設備の法定耐用年数は資産管理台帳から転記する。法定耐用年数を過ぎている場合の残余耐用年数は国税庁のHPで規定されている「簡便法」で計算すること。

光熱費・CO2削減効果

活動種別	エネルギー消費効率(%)			単価		排出係数		備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	価格	単位	係数	単位	
系統電力				17	¥/kWh	0.000551	t-CO2/kWh	
都市ガス					¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油					¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油					¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油					¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油					¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス(LPG)					¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス(LNG)					¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス(LNGを除く)					¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量(年間)					光熱費削減費	CO2排出削減量	備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	削減量(P-A)	単位	¥	t-CO2	
系統電力	-	65,250	40,950	24,300	kWh	413,100	13,3893	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス(LPG)					t			
液化天然ガス(LNG)					t			
天然ガス(LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						413,100	13	

(対策個票添付資料)

- ①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料
  - ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
  - ・対象設備のシステム図や配置図
- ②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

対策個票 2

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号	2	
対策の名称	空調用冷却水ポンプへのインバーター制御の追加	
対象設備の概要	【基本情報】 用途：冷却水循環ポンプ エネルギー種別：電力 定格出力：200 kW 導入時期：平成17年 法定耐用年数(残余法定耐用年数)：15年(5年) 1日及び1年の稼働時間：1日 24時間、年間 4,500時間	
	【メンテナンス実施体制・実施状況】 年2回サービス会社による定期メンテナンスを実施している。	
対策内容	【部品の交換】	
	①交換する部品名 ②導入する部品名・製造メーカー ③②の法定耐用年数(無い場合は-)を記入する。	
	①	②
	③	
対策内容	【部品の追加】	
	既設の電気モーター駆動の冷却水循環ポンプの動力は空調の負荷変動にかかわらず一定である。冷却水ポンプの流量を空調の負荷に合わせて制御することにより年間を通じて電力量を25%削減することができる。	
	①追加で導入する部品名・製造メーカー ②①の法定耐用年数(無い場合は-)を記入する。	
	①	②
	高性能・大容量インバータ・〇〇電気製	15

光熱費・CO2削減効果

活動種別	エネルギー消費効率(%)			単価		排出係数		備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	価格	単位	係数	単位	
系統電力				17	¥/kWh	0.000551	t-CO2/kWh	
都市ガス					¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油					¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油					¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油					¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油					¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス(LPG)					¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス(LNG)					¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス(LNGを除く)					¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量(年間)					光熱費削減費	CO2排出削減量	備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	削減量(P-A)	単位	¥	t-CO2	
系統電力	-	900,000	675,000	225,000	kWh	3,825,000	123.975	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス(LPG)					t			
液化天然ガス(LNG)					t			
天然ガス(LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						3,825,000	123	

(対策個票添付資料)

①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料

・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等

・対象設備のシステム図や配置図

②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

設備の高効率化改修支援モデル事業  
経費内訳

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額	
	6,102,400 円	0 円	6,102,400 円	5,952,400 円	
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して 少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して 少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7) × 補助率	
	- 円	5,952,400 円	5,952,400 円	3,968,000 円	
補助対象経費支出予定額内訳					
経費区分・費目・細分	金額	積算内訳		資料番号	
工事費					
本工事費					
材料費	3,900,000				
		900,000	20kW高性能・大容量インバーター	<1>	
		3,000,000	200kW高性能・大容量インバーター	<2>	
労務費	1,300,000				
		300,000	20kW高性能・大容量インバーター	<3>	
		1,000,000	200kW高性能・大容量インバーター	<4>	
直接経費	168,300				
		15,300	20kW高性能・大容量インバーター	<5>	
		153,000	200kW高性能・大容量インバーター	<6>	
現場管理費	336,600				
		30,600	20kW高性能・大容量インバーター	<7>	
		306,000	200kW高性能・大容量インバーター	<8>	
測量及試験費	247,500				
		22,500	20kW高性能・大容量インバーター	<9>	
		225,000	200kW高性能・大容量インバーター	<10>	
合計	5,952,400 円				
購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)					
名称	仕様	数量	単価	金額	購入(予定)時期
20kW高効率・大容量インバーター	20kW	1		1,268,400	H○年○月
200kW高効率・大容量インバーター	200kW	1		4,684,000	H○年○月

注1 積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。

注2 公募申請時(5)基準額は記入不要、(6)選定額は(4)補助対象経費支出予定額を記入する。